

Q&A 雨水出水浸水想定区域図について

Q 1	雨水出水浸水想定区域図と内水浸水想定区域図の違いは何ですか？
A 1	内水浸水想定区域図の中で、一定の要件を満たした水防法に基づいたものが雨水出水浸水想定区域図です。

Q 2	シミュレーション上では、ポンプ場は正常に作動していることとなっていますか？
A 2	シミュレーションでは、ポンプは停止している設定となっています。

Q 3	シミュレーション上では、樋門は空いていますか？それとも閉まっていますか？
A 3	シミュレーションでは、樋門は閉まっている設定となっています。

Q 4	シミュレーション上では、外水（海、川）位が高い時に堤防を越水し内陸に浸水しますか？
A 4	堤防からの越水は考慮していません。 内水浸水想定区域図では、外水氾濫は考慮しないので、海、川の境界で越水しない条件となっています。

Q 5	想定最大規模の雨とはどれぐらいの雨ですか？
A 5	147mm/h、1,000年に1回程度の雨です。近傍では、2008年の岡崎市降雨が時間雨量147mmを記録しました。

Q 6	高潮浸水想定の想定最大規模の条件が反映されていますか？
A 6	高潮の影響は考慮していません。 内水では、高潮や津波の影響は考慮しません。

Q 7	浸水深は、シミュレーションで24時間の雨を降らせた結果、最大の浸水深ですか？
A 7	桑名気象観測所において、10分間雨量の統計期間となる2009年2月以降で、10分間雨量かつ時間雨量が最大となる2003年8月17日の豪雨を引き伸ばした降雨です。上記の雨を降らせた結果の最大浸水深です。

Q 8	想定最大規模降雨で着色された場所は、今後、解消するための整備を実施するのですか？
A 8	<p>ハード整備は計画規模の降雨を目標とします。</p> <p>計画規模を超える外力に対しては、ソフト対策で対応し、被害軽減を目指します。</p> <p>本検討で作った雨水出水浸水想定区域図で浸水リスクを確認出来るようになり、住民の避難に活用が可能です。</p>

Q 9	シミュレーションするためにモデル化した河川はありますか？またモデル化していない河川は何ですか？
A 9	<p>非モデル化河川：1、2級河川</p> <p>モデル化河川：準用河川、普通河川</p>

Q 1 0	モデル化していない河川にある樋門は空いていますか？それとも閉まっていますか？
A 1 0	1、2級河川の河口の樋門は、閉まった状態を想定しています。

Q 1 1	地盤高のデータは国土地理院のデータを使いシミュレーションに反映しましたか？
A 1 1	地盤高のデータは、国土地理院のデータ（2016年）を使いシミュレーションに反映しています。

Q 1 2	雨水出水浸水想定区域図は何m ² メッシュで作成していますか？
A 1 2	25m ² （5 m × 5 m）メッシュで作成しています。

Q 1 3	内水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）とはなんですか？
A 1 3	<p>地域の既往最大級の降雨や他地域での大規模な降雨、水防法に基づく想定最大規模降雨等の現状の下水道の雨水排水能力を上回る降雨が生じた際に、下水道その他の排水施設の能力不足や河川の水位上昇に伴い当該雨水を排水できない場合に、浸水の発生が想定される区域及び実際に浸水が発生した区域など内水による浸水被害が発生するおそれのある排水区域、浸水の深さを示した図です。</p>

Q1 4	なぜ内水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）が必要なのですか？
A1 4	<p>近年、下水道等の雨水排水施設の能力を上回るような大雨が全国的に増加しており、浸水被害が多くなっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、浸水被害を緊急かつ効果的に軽減するためのソフト対策の1つとなる「浸水想定情報（浸水深・浸水区域など）の住民等への公表・周知」により、住民自身の自助・共助意識、防災意識の向上を図り、被害軽減対策を促進するために内水浸水想定区域図を公表しています。</p>
Q1 5	今回、内水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）で示された浸水想定区域は、今後、下水道整備によって消える可能性はありますか？
A1 5	<p>内水浸水想定区域図では、想定最大規模降雨（時間雨量 147mm）を使用しており、これに合わせた下水道整備を進めるには膨大な経費と時間がかかること、発生する確率が低いピークに合わせた規模の施設整備は費用対効果が低いことなどから、桑名市は決められた計画降雨に気候変動を考慮し1.1倍をしたものに対する整備を進めています。</p> <p>したがって、下水道整備により浸水範囲は小さくなる可能性はありますが、消える可能性はありません。</p>
Q1 6	想定最大規模降雨は実際に桑名市でも降りますか？
A1 6	<p>想定最大規模降雨は、桑名市で観測された降雨ではありませんが、類似する周辺地域の中で過去に発生した最大の降雨を用いています。</p> <p>このため、桑名市でも実際に降る可能性はあります。</p>
Q1 7	内水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）は更新しますか？
A1 7	下水道の整備が進んだ場合や、想定最大規模降雨が見直された場合など、必要に応じて内水浸水想定区域図を更新する予定です。
Q1 8	内水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）が過去の浸水実績と比べて広いのですが過大ではありませんか？
A1 8	<p>シミュレーション条件である、想定最大規模降雨は過去の実績降雨より降水量が多いため、浸水実績より浸水域が広くなりやすい傾向があります。</p> <p>内水浸水想定区域図は、下水道の能力を超えた降雨の浸水リスクを示すものなので、実績を超える浸水も考慮する必要があります。</p>

Q1 9	内水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）に使用したデータはいつ時点のものですか？
A1 9	<p>下水道の整備状況や、水路等のデータは以下時点のデータを使用しています。</p> <p>R3業務範囲：2022年5月時点</p> <p>R4業務範囲：2023年8月時点</p> <p>R5業務範囲：2023年12月時点</p> <p>地盤高データは、作成時点で最新である 国土地理院のデータ（2016年）を使用しています。</p> <p>地盤高データはあくまでも平均値となっているため、局地的なくぼ地や盛土などの微細な地形を表現できていない場合があります。</p>

Q2 0	過去の浸水実績や被害は反映されていますか？
A2 0	過去の浸水箇所について、ヒアリング結果とシミュレーション結果を比較し整合性を確認することで、解析結果の精度を確認しています。

Q2 1	過去に浸水したことが無い範囲が浸水する想定になっていますが、間違っていますか？
A2 1	<p>想定最大規模降雨は、既往の降雨を大きく上回る降雨であるため、過去に浸水していない場所でも浸水する可能性があります。</p> <p>また、シミュレーションで想定した条件は、過去の洪水における実際の降雨条件や河川の水位状況、土地利用状況（雨の流出しやすさ）等が異なるため、当時の浸水範囲や浸水深と異なる場合があります。</p>

Q2 2	過去に浸水実績のあった場所が、内水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）で示されていませんが、間違っていませんか？
A2 2	<p>下水道や排水路の整備が進んだ場合や、土地開発による造成などにより地形が変化した場合、過去の浸水範囲と内水浸水想定区域の浸水区域が異なることがあります。</p> <p>また、あくまでも下水道や排水路の流下能力不足により浸水する箇所を示しており、落葉やゴミなどが排水路や集水施設に詰まることによる浸水や、局所的な凹地などの微地形の浸水は表現していないため、過去の浸水実績とは異なる場合があります。</p>

Q23	土地が造成された場合や整備が進んだ場合は、浸水深が変わりますか？
A23	土地が造成された場合や下水道の整備が進んだ場合は、雨の流出しやすさや、下水道の排水能力が変わるため、浸水区域や水深が変わります。
Q24	川からかなり離れた場所も着色されているのはなぜですか？
A24	内水浸水想定区域図は、下水道や水路に起因した内水氾濫の浸水区域を示したもので、大雨で下水道や水路の排水能力を超えた場合は河川から離れた場所でも浸水が発生する可能性があります。
Q25	着色されていないところは大雨に対して安全なのでですか？
A25	内水浸水想定区域図は、想定最大規模降雨を対象に、一定の条件のもとに作成したもので、雨の降り方によっては、この図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水する深さも大きくなる場合がありますので、ご注意ください。
Q26	内水浸水想定区域図の地形図は古くないですか、土地利用形態や地盤高など古い条件でのシミュレーション結果なのですか？
A26	地形図や地盤高データは、内水浸水想定区域図作成時の最新のものを使用しています。 内水浸水想定区域図更新時に地形図、地盤高データが更新されている場合は同時に更新します。
Q27	凡例の浸水ランクは何をもとに決めたのでしょうか？
A27	浸水ランクは、国土交通省が作成した「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版) 2015年7月」の考え方従い、他都市の事例や解析結果をもとに定めました。
Q28	想定最大規模降雨に対する内水浸水想定区域図と内水ハザードマップとの違いは何ですか？
A28	内水浸水想定区域図、内水ハザードマップとともに、想定最大規模降雨時の浸水域、浸水深を示しており、円滑な避難行動や平常時からの防災意識の向上を図るために活用されるものです。 なお、内水ハザードマップには、水害時の避難場所、避難方法などの情報が浸水想定区域図に追加、記載されます。

Q29	想定最大規模降雨に対する内水浸水想定区域図と洪水浸水想定区域図の違いは何ですか？
A29	<p>内水浸水想定区域図は、下水道等の雨水水路やポンプ場の雨水排水能力を上回る大雨が降って、雨水排水施設の能力が不足し、水路やマンホールから溢れた水によって発生する浸水を示したものです。</p> <p>一方、洪水浸水想定区域図は、主に河川の堤防の決壊や河川から溢れた水により発生する浸水を示したものです。</p>